

野村万作・萬斎

公益財団法人宮城県文化振興財団設立25周年記念事業

笑いの芸術

狂言公演



「呂蓮」野村万作

とき 平成29年 **12月21日(木)**

開場:午後6時30分 開演:午後7時

ところ **東京エレクトロンホール宮城**



野村万作



野村萬斎



石田幸雄

解説 石田 幸雄



「釣針」野村萬斎

小舞 景清後

野村 太一郎
地謡 石田 幸雄
中村 修一
内藤 連

狂言 呂蓮

僧 野村 万作
宿の主人 高野 和憲
妻 飯田 豪
後見 中村 修一

狂言 釣針

太郎冠者 野村 萬斎
主 深田 博治
妻 月崎 晴夫
腰元 高野 和憲
腰元 中村 修一
腰元 内藤 連
腰元 野村 太一郎
腰元 岡 聡史
乙 竹山 悠樹
後見 飯田 豪

入場料

全席指定 S席 5,000円 A席 4,000円 学生 1,000円

(前売券発売日:平成29年9月1日(金)10時~)

※学生席は東京エレクトロンホール宮城のみでの販売となります。ご購入時学生証をご提示ください。※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

プレイガイド

藤崎、仙台三越、東京エレクトロンホール宮城、河北チケットセンター TEL.022-211-1189(電話のみ受け付け) [月~金 午前10時~午後2時(祝日除く)]
チケットぴあ(Pコード 481-045)、ローソンチケット(Lコード 23022)

お問い合わせ

東京エレクトロンホール宮城 / TEL.022(225)8641 河北チケットセンター / TEL.022(211)1189
[月~金 午前10時~午後2時(祝日除く)]

※東京エレクトロンホール宮城では、インターネット・電話予約を受付けております。チケットは、最寄りのセブンイレブン又は東京エレクトロンホール宮城事務室窓口でお引き取り頂きます。(http://miyagi-hall.jp/)

主催:公益財団法人宮城県文化振興財団、河北新報社、宮城県

小舞 景清 後 (かけきよ)

能「景清」後場で景清が語る、屋島の合戦で敵方の三保谷四郎とカ比への鏝引きをした武勇談を、狂言小舞にしたもの。

呂蓮

(ろれん)

旅の僧がとある家に一夜の宿を求め。僧の話聞いた宿の主人は、自分も出家したいと言いつす。はじめは止めた僧だが、主人が女房や親類に既に了解を得ていると聞き、希望を叶えてやることにする。更に名前をつけて欲しいと言われ、蓮の字にいるはつけた名をいくつか提案する。そこに何も聞かされていない妻がやってきて…。

移り気な人の心に翻弄される、僧の写実な演技が見どころです。

釣針

(つりばり)

独り身の主人が、同じく妻を持たない太郎冠者と共に妻を得ようと西宮の夷に参詣すると、西門に置いてある釣針で妻を釣るよう夢のお告げを賜る。太郎冠者は「釣ろうよ、釣ろうよ」とフシ面白くかけ声をかけながら、主人の妻に続いて、数人の腰元、さらには自身の妻を釣り上げる。主人が奥へ入った後、太郎冠者は自分の妻に直面するのだが…。

主人の代わりに次から次へと女たちを釣り上げる、太郎冠者の洒脱な舞が見どころです。色とりどりの装束に身を包んだ女たちがずらりと並び、華やかな舞台をお楽しみ下さい。

主な出演者の紹介

野村 万作

のむら まんさく



1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。3歳で初舞台。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。軽妙洒脱かつ品格ある芸で、国内外で狂言普及に貢献。ハワイ大・ワシントン大では客員教授を務める。秘曲『釣狐』で芸術祭大賞を受賞他、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遥大賞、朝日賞、長谷川川神賞等、受賞歴多数。02年早稲田大学芸術功労者、08年練馬区名誉区民。12年旭日小紋章。『月に憑かれたピエロ』『子午線の祀り』『法螺侍』等、狂言師として新たな試みにもげれば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。後進の指導にも定評がある。著書に『太郎冠者を生きる』(白水社uブックス)、『狂言三人三様・野村万作の巻』(岩波書店)など。練馬文化センター名誉館長。

野村 萬斎

のむら まんさい



1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。3歳で初舞台。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に出演する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、古典の技法を駆使した作品の演出、NHK『にほんごであそぼ』に出演するなど幅広く活躍。本年6月公開の主演映画『花戦さ』もヒットを記録した。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、芸術祭優秀賞他受賞多数。著書に『萬斎でござる』『MANSAI◎解体新書』(朝日新聞出版)、『狂言サイボーグ』(文春文庫)等。世田谷パブリックシアター芸術監督。

石田 幸雄

いしだ ゆきお



1949年生。野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。すでに数多くの優れた舞台歴を持つ野村家の重要な演者。大曲の『三番叟』『釣狐』『花子』をすでに初演。国内外で狂言・能公演に多数参加、普及に貢献している。06年「雙ノ会」で芸術祭大賞、11年観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。大胆かつ緻密な演技で、古典はもとより『国盗人』など新しい試みの舞台でも存在感を見せる。普及公演での的確な解説にも定評がある。学習院大学非常勤講師。

笑いの芸術

主催:公益財団法人 宮城県文化振興財団

「野村万作・萬斎 狂言公演」プレセミナー

日時 平成29年12月11日(月)
午後6時30分～午後7時30分(開場:午後6時)

会場 東京エレクトロンホール宮城
6階601会議室

講師:石田 幸雄 受講料 500円 全席自由

受講定員/100名程度(先着順)
募集期間/平成29年9月1日(金)～定員になり次第受付終了
申込み方法/狂言プレセミナー受講申込書に必要事項を記入の上、東京エレクトロンホール宮城にご持参ください。
お申込みの際、窓口で受講料をお支払いいただき、受講券をお渡します。

600年の歴史を持つ、和楽の伝統芸能『狂言』。庶民の日常を題材に、人間だれしもが身に覚えのありそうな心の動きを、おらから素直な笑いとともに表現するのが狂言です。その舞台はとてもシンプル。観る人の想像力に訴えながら、ないものがあるかのように見せる、遊び心に富んだ技術で「素手の芸」ともいわれます。

今回は12月21日に開催される狂言公演のプレセミナーとして、公演にも出演する狂言師・石田幸雄さんを講師にお招きし、演者ならではの視点をまじえた狂言についてのお話を中心に、基本的な演技の体験などもまじえて、より気軽に、かつ深く、狂言を楽しんでいただくことを目指します。